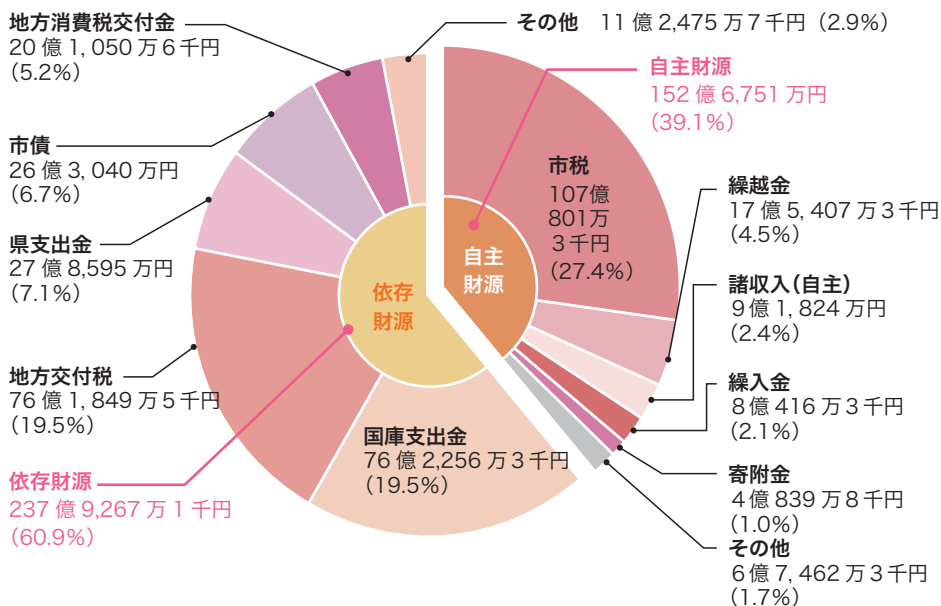


笠間市の 財政

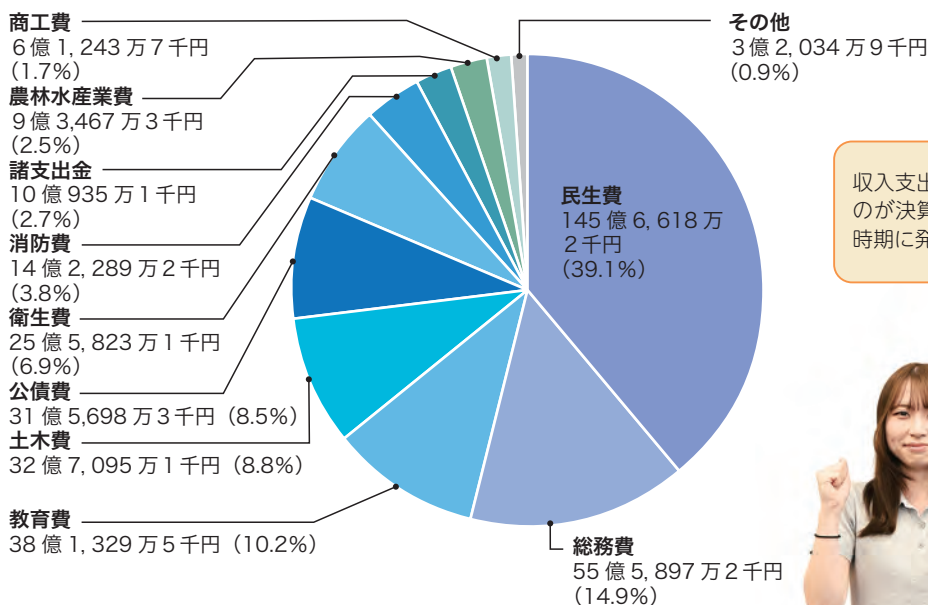
歳入 390 億 6,018 万 1 千円



令和 7 年度 決算報告

令和 7 年度の決算が笠間市議会にて認定されましたのでお知らせします。
皆さんから納めていただく市税をはじめ、国・県からの補助金や交付金などの収入を、医療や福祉、土木、教育など、市民生活の向上と住みよいまちづくりのために使っています。

歳出 372 億 2,431 万 6 千円



収入支出の結果を表すのが決算で、毎年この時期に発表しています

今年度入庁した新規採用職員の私たちが市の財政について説明します



【一般会計の決算額】

歳入 390 億 6,018 万 1 千円

歳出 372 億 2,431 万 6 千円

差引 18 億 3,586 万 5 千円

基金の状況	一般会計	特別会計	計
	169 億 6,817 万 5 千円	15 億 2,232 万 9 千円	184 億 9,050 万 4 千円

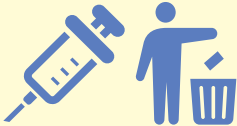
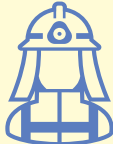
市債残高の状況	一般会計	企業会計	計
	266 億 9,940 万 4 千円	206 億 4,511 万 2 千円	473 億 4,451 万 6 千円

歳出額を市民 1 人あたりに換算すると

518,127 円

※令和 8 年 3 月 31 日現在人口(住民基本台帳) 71,844 人で算出 ※災害復旧費を含む

項目別によると

議会費 議会の運営など  3,530円	総務費 税金の賦課、 戸籍や住民登録の経費、 広報紙の発行など  77,376円	民生費 高齢者・障がい者・ 福祉対策・医療福祉など  202,747円	市の運営に関わる、さまざま な事業に支出していること がわかります 
衛生費 予防接種や各種検診、 ごみ処理事業など  35,608円	農林水産業費 農林業復興支援や 農地の基盤整備など  13,010円	商工費 商工業支援や 観光施設管理など  8,525円	
消防費 消防団や防災施設の 整備など  19,805円	教育費 各小中学校や公民館・ 図書館の運営など  53,077円	公債費 市債の元金・利子の 返済  43,942円	諸支出金 病院・水道事業への 支払金など  14,049円

特別会計

【特別会計】は、保険料や使用料などの特定収入により、特定の事業を行う会計です



区分		歳入	歳出	差引
特別会計	国民健康保険特別会計	73 億 6,982 万 6 千円	73 億 887 万 2 千円	6,095 万 4 千円
	後期高齢者医療特別会計	12 億 6,021 万 2 千円	12 億 5,768 万 9 千円	252 万 3 千円
	介護保険特別会計	81 億 3,789 万 3 千円	77 億 3,966 万 7 千円	3 億 9,822 万 6 千円
	介護サービス事業特別会計	1,967 万 7 千円	1,809 万 5 千円	158 万 2 千円

企業会計	病院事業	収益的	9 億 5,325 万 6 千円	10 億 992 万 3 千円	▲ 5,666 万 7 千円
		資本的	3,272 万 8 千円	5,765 万 6 千円	▲ 2,492 万 8 千円
	水道事業	収益的	18 億 5,970 万 8 千円	16 億 4,445 万 8 千円	2 億 1,525 万円
		資本的	4 億 2,370 万円	12 億 1,247 万 4 千円	▲ 7 億 8,877 万 4 千円
	工業用水道事業	収益的	3,444 万 2 千円	2,823 万 2 千円	621 万円
		資本的	0 円	0 円	0 円
	下水道事業	収益的	23 億 7,188 万 7 千円	23 億 2,196 万 2 千円	4,992 万 5 千円
		資本的	11 億 4,071 万 1 千円	18 億 1,164 万 5 千円	▲ 6 億 7,093 万 4 千円

合併特例債の使い道



将来市が返済するお金のうち、70%が普通交付税で措置されます



▲詳しくはこちら

合併特例債とは

新市建設計画に基づいた事業のうち、市の一体性を高めたり、均衡ある発展や住民福祉の向上を実現する事業の財源として、合併特例債を活用しています。具体的には、旧市町を結ぶ道路や地域の発展に必要な駅周辺の整備、小中学校の耐震化、認定こども園や地域交流センターなどの施設の整備など市民の生活に身近な事業に活用しており、平成18年度から令和7年度までの20年間で約296億円を借り入れています。

前年度の使い道(令和7年度)

幹線道路や安居工業地域、市民球場整備の整備などに活用しました。

令和7年度は約12億440万円を活用しました。

■道路整備事業

- 笠間 PA スマート IC ……1億3,100万円
- (仮称)鯉淵南友部線 ……1,460万円

■都市整備事業

- 安居工業地域 ……1億7,230万円
- 笠間稲荷周辺 ……450万円

■その他

- 市民球場整備 ……1,730万円
- 「笠間の栗」水田畑地化整備 ……1,950万円
- まちづくり振興基金積立 ……8億4,520万円

今年度の使い道(令和8年度)

幹線道路や笠間稲荷周辺の整備などへの活用を予定しています。

令和8年度は約6億6,500万円を予定しています。

■道路整備事業

- 笠間 PA スマート IC ……1億9,890万円
- (仮称)鯉淵南友部線 ……7,600万円
- 市道(笠)4232号線(大郷戸) ……1,040万円

■都市整備事業

- 安居工業地域 ……1億4,220万円
- 笠間稲荷周辺 ……1億3,880万円

■その他

- 市民球場整備 ……790万円
 - 「笠間の栗」水田畑地化整備 ……1,530万円
 - 北山公園整備 ……1,500万円
- ほか

○合併特例債起債可能上限額 ……約322億円
合併特例債借入(予定)総額 ……約278億円
(まちづくり振興基金積立分は含まない)

○まちづくり振興基金への積立上限額 ……約26億7千万円
まちづくり振興基金への積立額 ……約26億7千万円

※笠間市では、約322億円の合併特例債の活用が可能です。今後も財政状況などと照らし合わせながら真に必要なものに活用する方針です。

笠間市の

財政健全化法に基づく 財政指標の概要

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）」に基づき、令和7年度の笠間市の健全化判断比率および公営企業の資金不足比率をお知らせします。令和7年度決算に基づき算定した結果、すべての比率で基準を下回っています。今後とも限られた財源の重点的かつ効率的な予算の配分を行うとともに、節度ある財政運営に努めていきます。



笠間市は赤字額がなく、かつ将来負担比率が算定されず、健全な財政運営が行われています

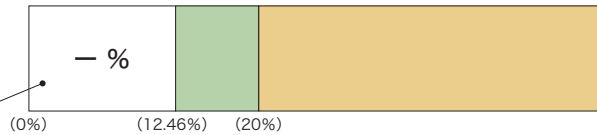
早期健全化基準の範囲

財政再生基準の範囲

笠間市の健全化判断比率

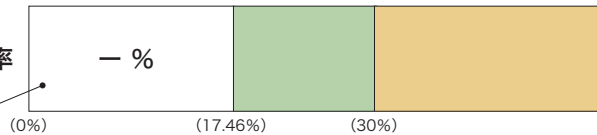
1 実質赤字比率

黒字ということ

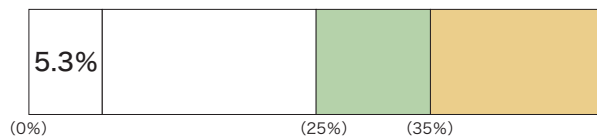


2 連結実質赤字比率

黒字ということ

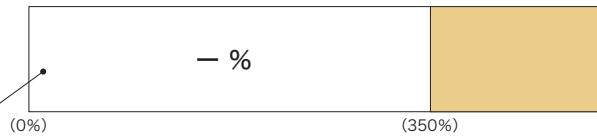


3 実質公債費比率



4 将来負担比率

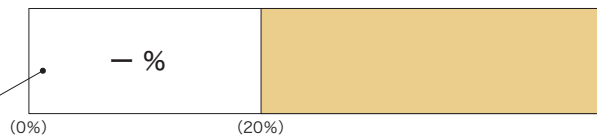
将来財政を圧迫する可能性がないということ



笠間市の公営企業の資金不足比率

5 資金不足比率

資金不足がないということ



早期健全化基準：早期健全化団体に移行する基準。早期健全化団体になると、財政健全化計画を定めて財政の健全化に向けた取り組みを行うことになります。

財政再生基準：財政再生団体になる基準。財政再生団体になると、財政再生計画を定めて財政再建に取り組むことになります。また、総務大臣の許可がなければ地方債の借入れができなくなります。

【用語の解説】

1 実質赤字比率

普通会計（一般会計）の赤字の程度を指標化し、財政経営の悪化の度合いを示すものです。笠間市の決算額は黒字であるため「0%」と表示しています。

2 連結実質赤字比率

全会計（一般会計＋特別会計等）の赤字や黒字を合算し、笠間市全体としての財政経営の悪化の度合いを示すものです。笠間市の連結決算額は黒字であるため「0%」と表示しています。

3 実質公債費比率

借入金（地方債）の返済額およびこれに準ずる額の大きさを指標化し、借入金の返済による財政負担の程度を示すものです（全会計＋笠間市地方広域事務組合などの一部事務組合などが対象）。

4 将来負担比率

一般会計などの借入金や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。笠間市の将来負担比率は算定されないため「0%」と表示しています（全会計＋一部事務組合＋第三セクター等が対象）。

5 資金不足比率

病院事業など各公営企業会計の資金不足の程度を指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すものです。公営企業に資金不足額はありませんが「0%」と表示しています。